

西小校区共生ステーション協議会(第5回)

開催報告

1 概要

- (1) 日時 平成25年7月8日(月) 19時から21時30分まで
- (2) 場所 桜作集会所
- (3) 参加者 13名
 - 報道機関 3名
 - 事務局 5名
- (4) 配布資料 別添のとおり

2 内容

地域共生ステーションのPRについて

(幹事)

本当に役に立つ「地域共生ステーション」の活動とは何か、みんなで話したい。

今後、自分の居場所がないと感じている高齢者が増加した際に、地域の中でどのように高齢者の居場所づくりやサポートができるだろうか。

(参加者)

年配の人たちや子どもたちは「地域に存在してくれるだけで安心できる」というメッセージをもっと伝えていくことが大切ではないか。

特別な役割に限らず、年配の人たちがちょっとした些細なことでも下の世代のために何かを残すことができれば、それは地域にとってとても有意義なことだと思う。

(参加者)

地域のために何かをしたい、と考えている人は多いと思う。地域共生ステーションの存在をもっとPRすることで、そうした人たちの交流や地域活動の中心になる人材の発掘の場として地域共生ステーションが活用されるようになるのではないか。

（参加者）

この協議会に関しても多くの人に関心を持たれず、毎回参加メンバーに大きな変化が見られない現状は問題だと思う。

地域で新しい取り組みを行っていく際には、幅広い地域住民に対して経過も含めたその活動内容を何度も PR して、理解や参加を促進することが大切ではないか。

今この協議会ではどのような取り組みを行っているかを広めていくことが、地域共生ステーションの PR にもつながっていくと思う。

（参加者）

協議会で行っていること、決めたことなどを、その都度色々なところに足を運び、伝えていくことが大切だと思う。そうすることで、地域共生ステーションの存在や協議会での取り組みが多くの地域住民に浸透し、「何かをやりたい」という気持ちが生まれるきっかけになるのではないかな。まずは、人が動き出すことが大切だと思う。

（参加者）

地域共生ステーションの目指す取り組みは、色々な世代や価値観が混ざり合ったものだと思う。協議会の中で最低限のルールは決めるべきだと思うが、目的を決めつけすぎると、地域共生ステーションでの取り組みが仕事のようになってしまう、参加者の中でいさかいが生まれてしまうのではないかな。

（参加者）

地域共生ステーションの PR を行う上でも、多くの地域の人たちの心に地域共生ステーションの存在をとどめてもらうことが大切だと思う。

例えば、地域共生ステーションの PR 文章を作成する場合、全面を告知文にするのではなく、「あなたが困っていることは何ですか。」という質問に対して自由に記述できるスペースを多く設けるなど、地域の人たちの思いを反映できる作りにするといいいのではないかな。参加者の一人一人が地域共生ステーションに関わる大切な存在であることを意識できる PR が大切だと思う。

（参加者）

気軽に地域住民が立ち寄って話をする場として喫茶店が活用されていると思う。地域共生ステーションも他愛のない話ができる施設としても活用されるといいのではないかな。そういう集まりがきっかけとなって、何かをやりたいと思

う人たち同士が、それぞれグループを作り活動を行うようになればいいと思う。

（参加者）

長久手の中にも何かをやりたいと考えている人や心のより所となる場を求めている人たちは多いと思う。そうした地域の潜在的な需要を掘り起こすためにも幅広い人たちへの PR は十分に行う必要があるのではないか。

（参加者）

自治会や広報などを通じて、地域共生ステーションに関する今後の活動に期待が抱けるような PR の方法を検討していきたい。

西小校区共生ステーション協議会の権限及び地域共生ステーション の運営規約について

（幹事）

次に、西小校区共生ステーション協議会の権限について確認しておきたい。

西小校区共生ステーション協議会の権限は長久手市の条例により規則を制定し、地域共生ステーションの規約を記載するものである。

西小校区共生ステーション協議会は地域共生ステーションの運営規約を定めていく権限を持っていることをみんなで改めて認識したうえで、話し合いを行っていききたい。

（参加者）

先ほどの話し合いの中で、地域の潜在的な需要を掘り起こすために幅広い人たちへの PR を行いたい、という意見があったが、例えば会議室利用の際の優先利用の方法については、これまでの話し合いの中で結論を出せていない部分なので、今後検討を重ねていく必要がある運営規約の一つだと思う。

（参加者）

利用上の制限についてもどのように定めていくか検討する必要があるのではないか。

例えば、地域共生ステーションの会議室以外のスペースは午後5時までと、協議会の中で定めたが、夜間も施設が利用できると、勉強のために利用する学生と他世代の交流が生まれるなど、地域共生の可能性が広まるのではないかと。

(参加者)

プレオープン期間を利用して、週に何日か、午後5時以降も施設を開放する曜日を設けてもいいのではないか。

(参加者)

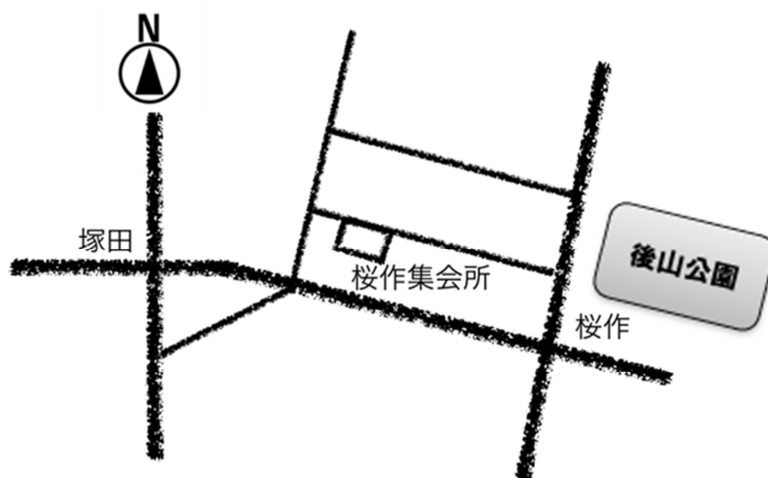
施設の利用を通して、様々な世代のつながりを作ることは、地域共生ステーションの重要な役割の一つだと思う。

今後もプレオープン期間中に、様々な世代が集まれる方法を検討し実践していきたい。

3 次回の開催案内(原則、毎月第2月曜日に開催)

日時：8月12日(月) 19:00から

場所：桜作集会所



【当日の様子】



地域ケア・マ / **肌身で音。つく!**

2013. 7. 8
西小校区共生ステーション
協賛会 **(地域特性)**

[運営スタッフ]
= 地域ケアセンター =
地域に何があるか?
どんな施設がある?

PR ~ 能力のある人も集める! **つばこ**
住民も参加する

→ 住民の理解? ⇒ 楽しい活動の提案
大人も参加できる、伝える → 人を動かす!

[目的] 決めず好きに! / 仕事じゃない! **何かをしよう!**
無制限のルール

[共助] のおかげ?
~ 思わぬ効果につながる
トビのつなぎ ~

**地域の人の
の関心を
高める**

住民の方以外
への働きかけや
関係
地域に魅力を
集める!!

何かやりたいと思いが湧いてくる → 場を修め
 への乗りこえて作る場をつくる 顧客意を隠さず
 潜在的な需要を掘り出す

① つながりは本で260に!

協会の権限 - 条例 ~ 規則 ~ 規約

優先利用 ~ 必要経費

利用上の制限を せうかぜく のわ?

夜間

中高生の 場? 急須 その他

2019. 2. 8
 西の校区入・シン
 協会の